



## Weekly Report

# 山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620  
Yamanashi Chuo Rotary Club 2016-2017

会 長	石原 満彦	副会長	田中 雅貴
幹 事	竹野 満	副幹事	田中 雅承
会 計	小池 章治	会 報	田中 雅承

事務所 〒409-3812  
山梨県中央市乙黒 158-2 (山梨ビジネスパーク(株) カルク内)  
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>  
FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)

2016~2017 RI 会長 ジョンF.ジャーム  
第2620地区 ガバナー 生子 哲男  
【例会日】毎週金曜日 12:30~13:30  
【例会場】(株)カルク (055-273-5344)

2017年 2月 24日 第1756回例会

### 本日のプログラム

ガバナー補佐 クラブ訪問(3)

### 会長挨拶

#### 「若草の十日市」

会長 石原 満彦

皆さんこんにちは。暦の上では立春と言うことですが、暑かったり寒かったりで相変わらず寒暖の激しい日が続いています。この時期はインフルエンザが流行っていると言うことで、学校閉鎖など相次いでいるみたいですので皆さん、くれぐれも注意しましょう。

それで今日は、2月10日です。そう、2月10日と言えば、甲府盆地に春を呼ぶ「若草の十日市」であります。この「若草の十日市」は毎年2月10日、11日の2日間、南アルプス市若草町十日市場の県道、韮崎・楡形・豊富線沿道1キロをメインに、盛大に繰り広げられる古い歴史の祭りであります。

今はどうか分かりませんが、その当時、私が子供の時は、かつての「歳の市」の面影を残し、沿道には木工製品や縁起物などを売る露店が並んでおり、毎年近郊から多くの人達が訪れて賑わいをみせていたのを思い出します。「十日市で売っていないものは、猫のたまごと馬の角

ぐらいだ」と言い習わされてきたそうです。「猫のたまご」と「馬の角」、大変懐かしい響きでついつい繰り返してしまいますが、私が子どもの時よく祖母が言っていたのが印象に残っていて、大変懐かしく感じました。「市」に出揃う品数の豊富さ、珍しさ、貴重さが伝わって来たのを思い出します。

市は、定められた日に定められた場所で物品の売買を行うという、古くに成立した日本の流通形態のひとつです。「十日市」の歴史も古く、そのことを裏付けるものに、天正11年(1583年)の徳川家康印判状写にある「十日市場村」という村名や、天正18年(1590年)浅野弾正少弼吉永の「十日市の禁制写」があります。これらを見ると、「十日市」の反映や、その活気ある庶民の暮らしが浮かんでくる、とどこかのインターネットのサイトで解説されていましたが、嘘か本当かは分かりませんので、悪しからず。

それで、「若草の十日市」と言えば皆さんもご存じだと思いますが、「木工品(臼や杵)」と「甲州だるま」が、十日市の名物であります。「甲州だるま」の方は山梨の伝統工芸で、一般的なだるまより鼻が高く、勇壮な顔立ちが特徴ということです。この「甲州だるま」職人も年々減少し、今は亡き乙黒さんの後を引き継いだ大沼さ

んが、唯一の「甲州だるま」職人だそうです。大沼さんは、先代から受け継いだ柳や桜の木の木型に和紙を幾重にも張り付け、1週間以上かけて乾かし、赤や白の油性塗料を塗って仕上げるそうです。完成まで20以上の行程が必要で、約1ヵ月かかるそうです。

そんなことで私は、明日もし時間があれば、10年ぶり位になりますが「若草の十日市」に行き、大沼さんの「甲州だるま」でも買ってみたいと思います。

皆さんも甲府盆地に春を呼ぶ「若草の十日市」に行かれてみてはいかがでしょうか？

### 幹事報告 幹事 竹野 満

1. 皆さんこんにちは。寒い日が続きますが、インフルエンザにかからない様にお気を付け下さい。

皆さんにお願いがございますが、2月28日に「子どもとあゆむ地域絵画作品展」巡回展の撤去作業、並びに中銀医大前支店展示作業がありますので、今から予定を入れておいて下さい。

2. 次期山梨第3分区 齋藤嗣樹ガバナー補佐より、「分區別事業計画書」が来ていますので、配布致します。

3. 例会変更のお知らせ

なし

### 前回の例会記録

#### 第1755回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	10名	1名	90%	4名	100%

届出欠席者 遠藤 一郎君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 石原 満彦君 樋貝 浩久君  
田中 雅貴君 田中 雅承君

ピジター なし

備考 なし

#### ニコニコ BOX

• 先週も休みました。今日は遅刻でした。  
樋貝 浩久

### ★ 米山奨学生卓話 ★

#### 『「春節」について(3)』

#### 米山記念奨学生 駱 予倩さん

中国の春節の飾りつけは、赤、黄、ゴールドをメインとしたきらびやかなもの。日本の正月のわびさびの渋い色彩とは対照的です。その代表的なものは「福字」・「春聯(しゅんれん)」など。福字とはその名のとおりに、「福」と大きく書かれた飾り物で、家の門に貼ります。春聯は対句の一種で、家の門や入り口に貼ります。そこには新しい年を祝い、豊年を祈り、事業が栄え、人が健康であることを祈る言葉などが書かれています。大晦日は家族でテレビ番組『春節聯晩会(日本の紅白歌合戦のようなもの)』を見ながら新しい年を迎えます。

中国にも日本のお年玉と同じような「紅包」というものがあります。上海、北京などでは、親のほかにも、親戚中からお金をもらうため、その額は数百元(数千円)から数千元(数万円)に達することも！平均月収3,000元弱といわれる都市部において、その額は日本の数十万円に値します。そして、夜になると町のあちこちで爆竹や花火が上がります。中国では古くから魔よけなどとして、年越しの晩に爆竹を盛大に鳴らし、花火を楽しむ習慣があります。爆竹・花火がピークに達するのは、年の変わり目の12時です。その瞬間を迎えると、町中の人々が爆竹や花火をどんどん打ち上げ始め、その爆音で話し声が聞こえなくなるほど！まさに戦場の爆音ともいえるすごさです。

しかし近年、深刻化している大気汚染の関係で、花火・爆竹を全国的に制限する動きがあります。花火・爆竹解禁の時間帯でも、汚染が深刻な日は使用禁止となる場合があります。しかも、年々打ち上げ禁止地域は拡大傾向にあり、違反者は数万元(数十万～百万円)の罰金となるので要注意です。(続く)

次のプログラム 3月3日(金)

会員卓話 遠藤 一郎会員